

アシスト、自動データパイプライン・プラットフォーム「Fivetran」を提供開始

企業の実態に即したモダンデータスタック型のデータ活用基盤を実現

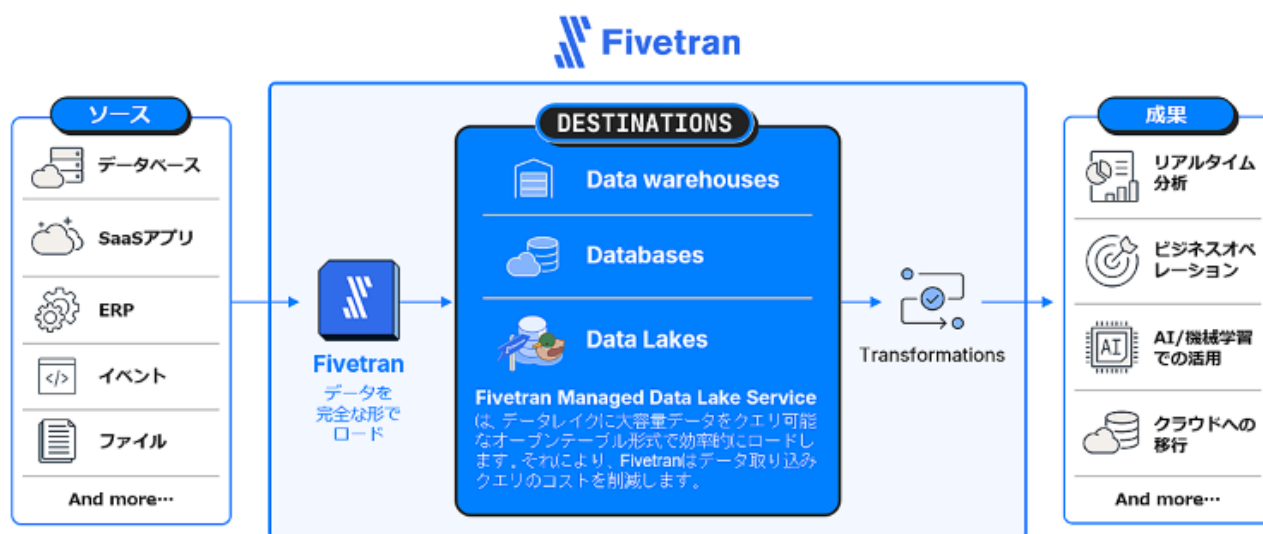
株式会社アシスト(本社:東京都千代田区、URL:<https://www.ashisuto.co.jp/>、以下「アシスト」)は、Fivetran Inc.(本社:米国カリフォルニア州、URL:<https://www.fivetran.com/>)、以下「Fivetran 社」と代理店契約を締結し、自動データパイプライン※・プラットフォーム「[Fivetran](#)」の提供を 2025 年 7 月 15 日付で開始します。

※データパイプライン:複数のデータソースからデータを収集・変換し、目的の場所に移動・格納するまでの一連のプロセス

近年、ビジネスニーズの変化に迅速かつ柔軟に対応するために、Snowflake や AWS Redshift などのクラウド型データウェアハウス(クラウド DWH)をデータ分析基盤として採用する企業が増えています。多種多様で大量のデータをデータ分析基盤へ抽出・ロードするためには、データソースの API やスキーマ(データ構造)に合わせ、ETL ツールのジョブ開発によるデータパイプラインが必要になります。特に、SaaS などのクラウドとオンプレミス環境を併用している企業は多く、新たなデータパイプラインの作成依頼に対する開発期間や費用、運用負荷が課題になっています。

これらの課題を解決する手段として、従来の ETL(抽出・変換・ロード)から、ELT(抽出・ロード・変換)方式への移行が注目されています。ELT は、データをほぼ加工せずにクラウド DWH にロードし、クラウド DWH 側の高い処理能力やリソースを最大限に活用してデータ変換を行うアプローチです。ユーザーのニーズに応じて都度開発するのではなく、必要な最新データは常にクラウド DWH やデータレイクに存在する状態を作ることができます。

Fivetran は、ELT 方式により、SaaS だけでなくオンプレミスも含むシステム／サービスから多種多様なデータを抽出し、クラウド DWH やデータレイクにロードするまでのデータパイプラインをノーコードで簡単に構築し、運用を自動化します。これにより、開発・運用コストを大幅に削減し、最新かつ信頼できるデータを迅速に活用できる基盤を構築することができます。



アシストでは、自社で Fivetran を検証した結果から、これまで顧客企業に提案してきた BI、AI、DWH、データ連携などの各種ソリューションと大きなシナジー効果が見込めると判断し、2023 年より一部の顧客企業に対し「Fivetran」の提案を開始してノウハウを蓄積してきました。今後はこれらの知見や経験を包括的に生かし、顧客企業におけるデータ活用基盤のモダン化・高度化を支援していきます。

Fivetran 社の「2025 Fivetran Global Partner Awards」において、アシストは、多くの案件創出の実績を評価され「Rising Star Partner of the Year – APAC」を受賞しました。今回の Global Partner Awards で、アシストは国内唯一の受賞企業となります。

以下、Fivetran Inc.からのコメントです。

アシスト様は、自動データ統合の力をお客様に届ける上で、極めて信頼できるパートナーです。お客様の成功に真摯に向き合う姿勢と高い専門性が評価され、2025 年 Fivetran Global Partner Awards にて「Rising Star Partner of the Year – APAC」を受賞されたことは、まさにその証です。
このたび、アシスト様との正式なパートナーシップを通じて、日本企業がモダンで堅牢なデータ基盤を構築し、より迅速かつ確実にビジネスの意思決定を行えるよう支援できることを、心より嬉しく思います。

Senior Manager, Alliances-APAC, Fivetran Shane Harris Tunks 氏

■「Fivetran」の概要

●Fivetran を利用するメリット

1. 完全ノーコードで構築工数・費用を低減

- あらかじめ用意されている 700 種類以上の SaaS アプリケーションやデータベースなどのコネクタを使用し、数クリックでデータパイプラインの構築が可能です。

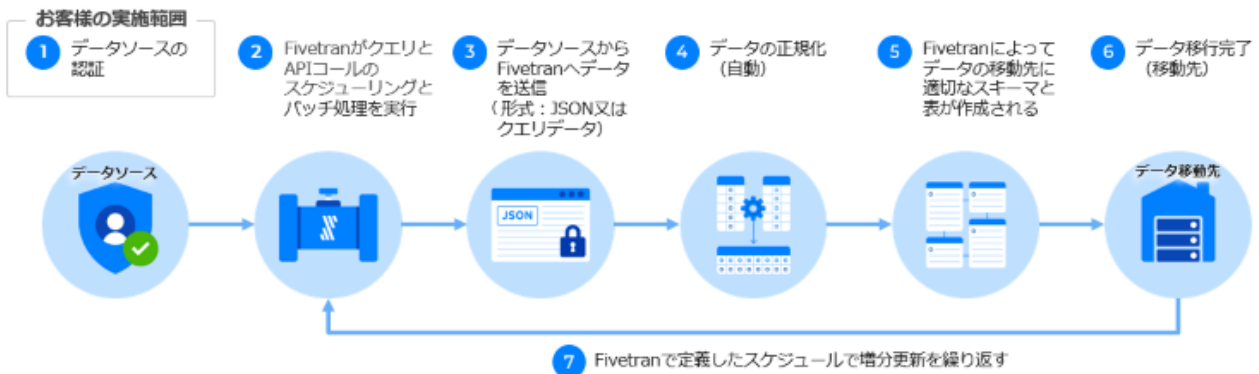
2. ユーザーに分析に必要な鮮度の高いデータを提供可能

- 初回のみ全データを同期し、以降は CDC (Change Data Capture) の仕組みを利用して差分データのみを取得することで、ソースデータベースへの負荷をかけずにデータ統合を実現します。
- 最短 1 分間隔でのマイクロバッチによるデータ同期が可能で、常に鮮度の高いデータをクラウド DWH にレプリケーションすることが可能です。

3. メンテナンスフリーな運用

- データソース側のカラム追加やスキーマ変更、API のバージョン変更を自動的に検出し、クラウド DWH にも反映することで、データの同期をとることができます (自動反映の可否は選択可能です)。自動的にスキーマ構造が変更される SaaS アプリケーションにおいて特に有効な機能であり、手動でのスキーマ管理作業が不要になります。
- 99.9%の稼働率と、障害発生時の自動復旧機能を備えています。前回のデータ同期処理の情報をチェックポイントとして保持しているため、人手を介さずに復旧ができ、クラウド DWH との不整合が起きないよう自動的にメンテナンスが実施されます。

Fivetranの仕組み・ワークフロー



●詳細 URL

<https://www.ashisuto.co.jp/fivetran/>

●提供価格

- Monthly Active Rows（月間アクティブ行数、以下「MAR」）に対する課金
- 年間利用予定に基づく MAR を購入し、以降、利用分を消費していくコンサンプションモデルで提供
- Standard、Enterprise、Business Critical の 3 つのプラン
※それぞれのプランによって、利用可能な機能、同期頻度、ネットワーク構成、セキュリティ、MAR の単価などが異なります。詳しい料金体系や機能差異については、お問い合わせください。

<参考価格>

初期費用：約 250 万円（税込）～

■「Fivetran」に関するお問い合わせ

株式会社アシスト DX 技術本部 データイノベーションセンター 担当：須藤、諸戸、福田、安井

URL：<https://www.ashisuto.co.jp/pa/contact/fivetran.html>

■プレスリリースに関するお問い合わせ

株式会社アシスト 広報担当：曾根原、吉田

TEL：03-5276-5850

URL：https://www.ashisuto.co.jp/corporate/press_room/

※ 記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

※ プレスリリースに記載された製品／サービスの内容、価格、仕様、お問い合わせなどは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。